

## 家族で孤立してしまうことも

見た目問題相談センターでは、幅広い世代からご相談をいただきます。「見た目」の症状に悩まされて、「学校や仕事に行けない」「人と会うのが怖い」「仕事をしたいが就職活動に自信がない」といった状況に陥っている人が多くみられます。

共通するのは「見た目問題」をきっかけに壁にぶつかり、心身の調子を崩してしまうところです。しんどい気持ちを受け止めてもらえる場所が少ないので、ご本人やご家族だけで悩みを抱え、地域社会から孤立していらっしゃる人も少なくありません。お電話をかけてくださるということは、その時点で勇気とエネルギーがいるはず。まず、気持ちを共有して、一緒にその問題を考えていくように心がけています。センターでは、「生活困窮」「不登校」「うつ病」などその人の状況に合わせて必要であれば適切な機関につないでいます。

## 自分らしく生きるヒントを求めて

「見た目」に悩みを抱えた子どもや若者もいます。ロービジョン(弱視)を伴うアルビノの場合、「見えづらさ」を理解してもらえず、体育の時間にできないことをさせられたり、紫外線にあたると炎症を起こすので長袖着用を希望しても認められなかったりします。恋愛や結婚の悩みも多いですね。子どもへの遺伝などについて正確な情報が得られず、悩まれる方もいらっしゃいます。

アルビノ・ドーナツの会では、このような子どもや若者の悩みを共有するために、中、高、大学生の年代のアルビノ当事者を対象としたイベント「アルビノ甲子園」を開催しています。大人のアルビノの人をゲストに招き、ト

クをすることもあります。先輩たちは、「見た目」を活かしたメイクやファッションをとり入れて楽しんだり、さまざまな職業に就いて活躍したり、症状とうまくつきあいながら、自分らしく生きています。素敵な先輩たちとの出会いが、後輩たちにとって前に進むキッカケになればと願っています。

## 私たちの存在を知ってほしい

「見た目問題」で最も苦勞することの一つは、やはり就職活動ではないでしょうか。就職の担当者だけが「見た目問題」を理解すればよいのではなく、社会全体の啓発が必要です。そのためには「見た目問題」で苦しんでいる私たち当事者の存在そのものを多くのみなさんに知ってもらうことが一番よい方法だと考えています。

「見た目」に悩みがある人は、見た目問題相談センターでお話をお聴きします。相談というとハードルが高いかもかもしれませんが、「モヤモヤする」「すっきりしない」そんな気持ちを言葉にしてみませんか?お電話を通してつながることができたらうれしく思います。



▲教員向け研修の様子(2020年)

## 「アルビノ・ドーナツの会」

2007年(平成19年)に設立し、みなさんにとって身近でホッとできる場所となり、今よりもっと視野を広げてもらえるきっかけの場となれるよう、多様な人たちがともに自然に暮らしていける社会づくりをめざして活動しています。

活動内容としては、関西を拠点に、全国でアルビノ当事者やご家族・仲間同士の交流、情報交換等を定期的に行っています。また、行政機関や教育機関の職員を対象とした人権研修や学校での人権授業の講師、また、メディアを通じた啓発活動を行っています。

【ホームページ】 <https://www.doughnutsnokai.com>

### ■見た目問題相談センター(八尾市人権協会内)

【相談専用電話】 072-943-0069 【相談日時】 毎週水曜日 13時~18時

【メールでの相談】 <http://www.yaojinken.org/mail/contact.php>